

# プログラム名： 私たちのエネルギーの未来について考える ～カーボンニュートラルに取り組む臨海コンビナート～



## プログラムの内容

広大な石油コンビナート施設の見学を通して、海外から輸入された原油がエネルギーとして使われるまでの過程を学ぶとともに、出光興産の2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを知ることで、一歩先のエネルギーについて考えます。

## 対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

- 7.a 2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。
- 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
- 13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

## 見学ルート



### 事前学習

▶自分たちの生活のどのような場面でエネルギーが使われているか調べる

### 現地学習

▶概要説明・石油サンプル紹介、石油エリア見学、プレゼンサイト見学、質疑応答

### 事後学習

▶自分たちの生活のなかで実践できる省エネ方法を見つける

## プログラムのポイント！



私たちの暮らしに欠かせない石油製品・石油化学製品は海外から原油を輸入することからはじまります。京葉臨海コンビナートは世界最大規模のエネルギー・素材産業の集積地となっており、原油処理能力は日本1位、液化天然ガス(LNG)貯蔵能力は世界1位の規模です。出光興産千葉事業所は京葉臨海コンビナートで原油を精製し石油製品の製造とともに石油化学・潤滑油の製造も行っています。また、隣接する企業の製油所・石油化学工場と原料・用役を配管で共有し、コンビナート全体で私たちの暮らしを支えています。しかし、石油・石炭・LNGの化石燃料に依存したエネルギー構造は大きな転換期を迎えています。二酸化炭素に代表される温室効果ガスの削減は重要かつ喫緊な課題であり、日本は排出量を2030年までに2013年比の46%減、2050年までに実質ゼロのカーボンニュートラルを目標としています。出光興産はエネルギーの安定供給責任を果たしながら、地球に優しいカーボンニュートラルなエネルギー・素材への転換に取り組んでいます。日本が直面しているエネルギー課題と様々な解決策について学び、これからの暮らしの在り方を考えてみましょう。

受入人数	最大15名まで
受入可能時期（休業日）	平日限定（土日祝日は受入不可）
受入可能時間	10:00～12:00、14:00～16:00
体験時間	120分

対象	中学生・高校生
料金	プログラム費用は無料
備考（雨天対応等）	事業所として見学業務に対し安全管理上リスクありと判断した場合は当日でも中止とさせていただきます。また正門にて問診票提出が必要です。

お申込み・ご相談はメールで受け付けます  
出光興産 千葉事業所 総務課  
E-mail : kyoiku-ryokou@idemitsu.com

※実施1年前の同日より受付開始、3ヶ月前までに申し込みください。専用申し込み書を送付いたします。  
なお先着順にて受付を行いますので、お断りする場合がございます。ご了承ください。